

一九七一年八月七日第三種郵便物許可(毎月六回一の日・六の「発行」)
 一九九八年五月二日発行・SSKA増刊通巻三〇二二号

SSKA

全国パーキンソン病友の会会報

茨城県支部だより

第 4 5 号
 平成 10 年
 (1998 年)
 5 月 2 日

全国パーキンソン病友の会茨城県支部
 〒三手〇〇八・茨城県石岡市若松一七五
 TEL & FAX 〇二九九(二二)五五八〇
 郵便振替 〇〇三〇〇一四一三八〇四二

第13回定期支部総会

全国パーキンソン病友の会茨城県支部



目次

* 支部長挨拶／総会に参加しての感想	二
* 総会を欠席の皆さんの近状	三〇五
* 総会に頂いた祝電等の紹介	六〇九
* 総合的難病対策の署名・募金協力者	一〇
* 助成金&寄付金一覧表	一
* 次年度繰越金	一
* 新会員の紹介／計報	二
* 定期支部総会の総括	三
* 新役員の紹介	三
* 衆参厚生委員の議員に対し請願書	四
* 癒しのファイル	一五〇一八
* 各支部別会員数	一九
* 平成一〇年度活動方針／事務局だより／編集後記	二〇

ご挨拶

茨城県支部長 清水 昇勝

只今、ご紹介頂きました、清水でございます。本日は県内各地より、ここ県総合福祉会館に、お集り下さいまして、誠にご苦労さまです。

総会に参加の会員さんは、今日のために、前々から体調を整えていたこととお察し致します。ここにきて、参加予定者数名の方が体調が思わしくないと欠席致しました。会場の皆さんは、病に立ち向かうと言う意味でも、一つのハードルを越えられたことと思います。

私たちは、症状の一つの歩行障害でありますので、どうしても外出が制限されます。どうか皆さん、極力外に出る事をおすすめします。

参加の皆さんにとって、これから始まります第13回定期支部総会の審議と第二部の医療講演会が有意義であります事を確信しております。はなはだ簡単ですが、一言ご挨拶とします。

総会に参加しての感想

ふだんは周囲から奇異の目で見られたり同情されたりで、気持ちがふさがちです。同病相憐むことわざどおり、パーキンソン病友の会に参加すると気持ちが和むようです。今後とも、皆さんと共に頑張りたいと思います。役員の皆様の御尽力に感謝いたしております。

何時も支部長さんをはじめ、役員の皆様には大変御世話になりまして厚くお礼申し上げます。年に一回の総会、地区交流会を楽しみに致しております。寝込まない様、一生懸命頑張りたいと思います。

会員120名、総会出席約40名、180名の方が家で病気に苦しんでいる。色々の事情問題は有るでしょうがお互に同病者として元気を出して勇気出して慰め励ましが最大の特効薬で有ると思います。

それぞれお忙しい身でありながら、私共の為に御世話下さる役員の方々に唯々感謝あるのみです。支部長の奥様の何時も変わらぬ明るい笑顔にあやかりたいと、思っております。……以下略

紙面の都合で一部の紹介です。

定期支部総会を欠席の皆さんの近状 (順不同)

何時も会報ありがとうございます。

どうしても歩く事が出来ませんので、申訳御座いませんが欠席させていただきます。

————— 日立市・K

寒さが和らいできましたので、過ごし易くなってきました。皆様も風邪等にお気を付け下さい。

————— 日立市・H

現在、自分ではすべて出来ません。椅子に掛けていることも20分程度で出席はできません。会員の皆様に宜しくお伝え下さい

————— 水戸市・S

一日増しに歩けなくなって今は全然歩けませんので欠席致します。

————— ひたちなか市・K

最近右手の震えが強く、日赤の鈴木先生に診てもらっています、皆様によろしくお願ひ致します。

————— ひたちなか市・A

体調が総会迄に努力して結果好調な回復の兆しを感じられれば電話して出席させていただきます。寒暖の差が激しく体調の安定がむずかしい、外出もままならずといっても

家の中にばかりの入りびたっているのは体は硬くなるばかりでプラスにはならない、冷え込む夜は、6回～7回、トイレに立つ、最近では昼間でも、外出がままならず、年に一度の総会ですので会員の方々のお姿を拝見したいところですが、何とも云えません、欠席にしておきます。

————— 結城市・Y

元気で仕事を続けております、体調は大変よろしくて、よろこんでおります。あと2年で定年なので頑張っております。

————— つくば市・K

先日はお忙しい処お見舞い頂きまして有難う御座いました。只今は週に一度老人保健施設フェニックス那珂に通ってリハビリに励んでおります。日光浴も出来て大変気分的にも良く当分続けたいと思っています。

————— 水戸市・S

寒かったせい最近体調悪く、薬が切れると歩行困難です。残念ですが欠席いたします。皆様によろしく。

————— 日立市・K

入院中のため欠席いたします。

————— 日立市・K

何時もご連絡頂きましてありがとうございます。出席したいと思いますが一人では出れません、誰もいないので申し訳ありませんが、次の機会にと思っております。

取手市・K

御無沙汰致しております。月日ごと体が弱っていく今日この頃です。足の運びが悪い状態で病院で週2回リハビリに通っております。今後とも宜しくお願い致します。

大洗町・O

歩行困難で相変わらず車椅子の生活です

牛久市・I

腹筋・背筋が弱くなっていく度、前屈の姿勢が段々ひどくなってきました。筋力をつける体操は行っていますがなかなか効きめができません、遠出は出来ません。

藤代町・K

訪問看護やホームヘルパーなどの介護を受けながら生活しています。

お目にかかれないのが残念ですが、長時間の外出は身体にこたえますので。

竜ヶ崎市・E

歩行が急に悪くなり10日位前入院してしますので欠席致します。

山方町・S

いつもありがとうございます。顔色も良く食事もおいしいと言っていつも全部食べていますが、少しずつ進んでいるようです。

取手市・M

薬が切れた時、ふるえが大きくなってきました。年ごとに病状も悪くなります。

高萩市・N

退院後は訪問看護を受けています。手の震えもとまりました。毎日1km位歩いています。

明野町・S

日増に前倒前屈が強くなって、今は立つことも出来ません。

古河市・N

体調がおもわしくなく3月11日より入院してしまいました。せっかくの講演ですが欠席させて頂きます。

牛久市・I

発病後声の出が悪くなったので中断していた民謡を再開しました。以前のように高い声は出ませんが、今後は味のある歌い方をしていきたいと思っております。

三和町・T

体の調子が悪いため宜しく。

水府村・Y

寒い中にもやっと春を感じるようになってきました、道路のそばには可愛らしい花が咲き、暖かくなって参りましたら、少しは良くなるかと思っておりますが出席の方へ〇をつけられないが残念です。お世話様になります。

————— 荳崎町・K

何時もお世話様です。15日頃より体調が悪いので返事遅れましてすみません。行かれる時は是非と思えますが欠席とします。

————— 旭村・A

歩行困難のため、誠に申訳け有りませんが欠席と致します。

————— 御前山村・A

昨年の12月末より多賀病院に入院しております。もう少しで退院出来ると思っております。

————— 十王町・W

「パーキンソン症候群」の症状はわずかずつ進行し現在寝たきりの状態です。

————— 友部町・S

一日七回薬を飲んでいますが、今頃あまり効かなくなり、少しずつ進行しているようです。4月12日は車の運転も少し自信がなく、先日庄司先生の講演をつくば保健所で聞きましたので。

————— つくば市・N

寝たきりの状態のため参加出来ません、引き続き宜しくお願いします。

————— 友部町・T

大雪の日に滑って右手首を捻挫してしまいヒイヒイ云うているうちに帯状湿疹にかかってしまい、水泡で顔半分が腫れあがりお化けの様な顔になりましたが、ようやく全快致しました。自宅でやっております歌謡教室は順調で昨年から月に一回位の割合いで、ボランティアで老人ホームに歌の慰問をしております。4月は取手市の「ふれあいの郷」を慰問します。今年は歌の社会奉仕に力を入れます。

————— 守谷町・M

何かとお世話様になります。病気も余り進まず、それなりの生活をして居ります。

————— 玉里村・N



第13回定期支部総会に頂いた祝電・祝辞・メッセージの紹介 (順不同)

電子郵便

第13回総会を心からおよろこび申し上げます。新薬が開発されるニュースも聞かれ、目の前がいくらか明るい兆しが見えてきたように思えますが、医療法等の改正により患者にとっては厳しい世の中になってきて、日常生活は困難を極めています。

みんなで手を取りあって、一つ一つの困難を切り開いていきましょう。

貴会のご発展をお祈りいたします。

全国パーキンソン病友の会
会長 馬場 富雄

メッセージ

全国パーキンソン病友の会茨城県支部の第13回定期総会の盛況を祝し、貴支部のさらなるご発展を祈念します。

手を取り合って今後も、医療福祉の向上に頑張りましょう。

全国パーキンソン病友の会
大分県支部

祝電 (カトレア)

本日の総会を祝し、心よりお喜び申し上げます。関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表し、総会のご成功を祈念いたします。

全国パーキンソン病友の会
長野県支部長

祝電 (おし花)

本日の総会を祝し、心よりお喜び申し上げます。関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表し、総会のご成功を祈念いたします。

群馬県パーキンソン病友の会
会長 塩沢 福司

メッセージ

全国パーキンソン病友の会茨城県支部総会の開催をお祝い申し上げます。

会員の皆様一致団結して病気に打ち勝って療養をおっつけ下さい。難病に対する政府の施策に反対し組織をあげて、会員のQOLの向上に全力投球して下さい。

宮崎県支部から連帯のメッセージを送ります。貴支部の益々の発展を祈念致します。

全国パーキンソン病友の会
宮崎県支部長 原田 恒夫

電子郵便

第13回定期支部総会のご開催お喜び申し上げます。パーキンソン病を始めとする難病患者に対する行政の対応は福祉切捨と私達に対処し腹が立ちます。決まった事は仕方ありません。私達同病は仲よく手を取り合い人生で最も大切な助け合う心を忘れずお互いに頑張りましょう。

兵庫県支部長 篤永 譲

メッセージ

貴会には、親しい仲間も多く、いつも励まされております。憎むべき、この病の絶滅を目指し活動して行きましょう。

お目にかかれる事を楽しみに頑張ります。総会のご成功を祈っております。

全国パーキンソン病友の会
岡山県支部 青山 峰子

電子郵便

茨城県パーキンソン病支部第13回定期支部総会の開催を祝し、心よりお喜び申し上げます。関係者各位の並々ならぬご尽力に敬意を表し、総会のご成功をお祈り申し上げます。各人病状の違う病気ですが、患者同志の交流で心豊かな人生を送られるよう、切にお祈り申し上げます。

静岡県パーキンソン病友の会
会長 立道 滋子

祝辞

春暖の候、茨城県支部13回定期支部総会開催を心からお祝い申し上げます。

残念ながら折角のお招きに応じられず、誠に申し訳ございません。ご存知の如くパーキンソン病をめぐる環境は益々厳しくなって参り、ここの力では限界があり、マスコミの力を頼らざるをえずと、新支部が続々誕生、加盟して来ております。

この時に当たり創立13年の輝かしい伝統と歩行障害にもめげずバイタリテイのある

清水支部長の下、貴支部の活動が一段と注目されてきております。第13回定期総会を迎えるに当たり貴支部の皆様には更なる決意をもってパーキンソン病のQOLの向上に尽くし、これらの新支部の模範となられんことを切望し、総会の祝辞に代えさせていただきます。

全国パーキンソン病友の会
会長（埼玉県支部）馬場 富雄

メッセージ

全国パーキンソン病友の会茨城県支部、第13回定期総会の開会を心からお祝い申し上げます。会員・関係者の皆さんの協力で団結し、難病と言われる本病の療養を続けるようにしてほしいと考えています。現在本病の治療では、薬物治療から手術治療の段階に前進するという現状を考えています。全国会報NO.64-65号の中に書かれておりますが、いかがでしょうか。今迄での治療法を変えようとするのであれば、手術治療を受けることはいかがでしょうか。

難病患者に対する政府の政策を検討し、反対するように頑張らしましょう。

貴支部の今後の発展を祈念致します。

全国パーキンソン病友の会
北海道支部長 山根 義洸

祝辞

茨城県支部第13回定期支部総会のご開催おめでとうございます。

私達難病患者は苦しい闘病療養生活を余儀なくされ患者やその家族は医療費をはじめ経済的、精神的に大きい負担をかかえ益々厳しい状況下にあります。

政府は患者が安心して医療を受け生き甲斐を持って過ごせるよう疾病の早期原因解明と治療法の確立を図るべく共に特定疾患治療研究事業の全額公費負担を堅持し総合的な難病対策の一層の充実と拡充を強く要望します。

どうか貴支部総会が有意義な一日となり貴支部の益々のご発展されることを心からお祈り申し上げます。総会に出席できず残念ですが、全国大会埼玉大会でお会いしましょう。

貴友の会の皆様のご健康とご多幸を祈念しましてお祝いのごこととします。

全国パーキンソン病友の会
愛媛県支部長 林 芳明

電子郵便

第13回定期総会おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。パーキンソン病は、長い闘病生活となりますので、辛いこと、苦しいこと多々あることですが、一生病気との2人3脚を余儀なくされた以上明るく、前向きに生きるように努力し、頑張ってみましょう。貴支部の今後の活躍と発展をご祈念致します。

全国パーキンソン病友の会
栃木県支部長 田中 洋一

メッセージ

全国パーキンソン病友の会茨城県支部第13回定期総会の開催を、心よりお祝い申し上げます。パーキンソン病を含め、難病患者の医療費公費負担問題など、極めて厳しい情勢となってきましたが、今後ともあらゆる問題に対し、力を合わせ手を取り合っ

て頑張っていきたいと思います。総会のご盛会と、貴支部のご発展を遥かお祈りいたします。

全国パーキンソン病友の会
京都府支部 安見 康治

メッセージ

第13回定期総会開催をお慶び申し上げます。我々難病患者にとってもっとも厳しい「難病対策の見直し」と言う事態に直面しています、反対の声を大きくあげましょう。

また、「医療保険」の改悪や「介護保険法」の制定等患者のみならず、国民全体に重くのしかかって来る問題です。

苦しくなればなるほど声を大にしましょう、そして厳しい情勢に対しお互いに力を合わせて頑張りましょう。

貴会のご活躍を期待いたします。

JPA大阪府支部
支部長 松尾俊郎



電子郵便

全国パーキンソン病友の会茨城県支部第13回定期総会のご盛会を心からお喜び申し上げます。

各地域との交流を深め和を広げ豊かな医療と福祉の実現する様又ご活躍される事を願い、ご参加の皆様のご多幸を祈念いたします。

岐阜県パーキンソン病友の会
会長 足立 静枝

祝電（おし花）

第13回茨城県支部総会並びに医療講演会のご盛会を祝し、皆様方の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

愛知県パーキンソン病友の会
会長 林 三郎

メッセージ

第13回定期総会おめでとうございます。昨年から今年にかけて私たち療養者にとって非常に厳しい年でありました。しかし黙していれば益々悪くなる一方です。私たち自身ももっと力をつけると同時に大きく輪を広げることによって私達の要求が実現できます。

新潟県支部は昨年11月に発足したばかりですが、皆様とともにパーキンソン病患者の生活と権利を守ると同時に難病の原因究明治療法の確立を求めるために精一杯努力をするつもりであります。

定期総会のご盛会をお祈りしております。

全国パーキンソン病友の会
新潟県支部長 斎藤 博



"98 総合的難病対策の早期確立を要望する請願書

署名・募金協力者（敬称略）

NO	月 日	住 所	氏 名	備 考	NO	月 日	住 所	氏 名	備 考
1	10, 7	取手市	四ッ谷 実		27	11, 27	日立市	加藤 睦子	
2	18	守谷町	益田 功		28	"	"	永井 絹子	
3	21	那珂町	寺門 京子		29	28	水戸市	坂本 俊雄	
4	22	日立市	君島 照子		30	29	藤代町	河瀬 房子	
5	23	山方町	中嶋 雅子		31	12, 1	ひたちなか市	久保 悦郎	
6	25	ひたちなか市	山村 不二乃		32	"	谷和原	鈴木 操	
7	"	東海村	荷見 のぶ		33	3	下館市	丸山 道子	
8	"	水戸市	大津 茂雄		34	4	高萩市	會澤 元	
9	26	竜ヶ崎	植本 泰久		35	6	笠間市	綿引 玉子	
10	27	ひたちなか市	佃 国夫		36	12	玉里村	上田 てい	
11	"	竜ヶ崎	花沢 勝美		37	"	日立市	益子 明美	
12	"	明野町	斉藤 静江		38	"	藤代町	河村 よしみ	
13	29	東村	高柳 せき		39	9	日立市	中村 幸四郎	
14	11, 1	友部町	長谷川 悦子		40	"	鉾田町	竹内 大三	
15	"	"	桜井 たま子		41	10	石岡市	清水 昇勝	
16	"	日立市	長山 きくゑ		42	19	十王町	和田 文久	
17	2	古河市	村上 静代		43	20	つくば	久保蘭 努	
18	5	水戸市	佐藤 秀太郎		44	"	石岡市	清水 晴美	
19	6	取手市	南 スイ		45	21	石下町	安田 まさ	
20	9	水戸市	大森 誠		46	"	水戸市	宮部 和子	
21	10	古河市	阿部 由美子		47	23	高萩市	松田 千年	
22	12	石岡市	藤崎 庄次		48	24	牛久市	池田 弥生	
23	13	利根町	金山 洋子		49	30	"	色川 きく	
24	14	水戸市	塩原 幸子		50	31	三和町	高橋 清	
25	16	"	仲田 なみ		51	1, 6	笠間市	川辺 とみ江	
26	21	東海村	照沼 和子		合計		署名数 600名	募金 199,494円	

【募金配分方法】

募金総額	必要経費	支部還元	取纏団体	J.P.C
100%	(妍・備代)	50%	20%	30%
199,494	20,130	89,682	35,873	53,809

沢山のご協力誠にあり
がとうございました。
支部長 清水 昇勝

助成金&寄付金一覧表

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

〔助成金〕

茨城県	70,000
茨城新聞文化福祉事業団	40,000
江橋高齢者福祉基金	50,000
合計 -----	160,000

〔寄付金〕

日立市・中村幸四郎 様	10,000
那珂町・小佐畑 弘 様	10,000
石岡市・清水 昇勝	1,384
日本歌謡連盟石岡支部様	40,122
味方姉・久保 悦郎 様	760
水戸市・三浦 ツネ 様	5,000
取手市・渡辺富貴子 様	20,000
水戸市・大森 誠 様	10,000
合計 -----	97,266



左記の11件の方々より、助成金・寄付金を頂きました。心から感謝し、大切に会の運営資金として使わせて頂きます。

平成10年3月31日現在残金(次年度繰越金)

《一般会計》

現金	定期貯金	普通預金	繰越金
50,091	0	90,827	140,918

《特別会計》

現金	定期貯金	普通貯金	繰越金
0	2,100,000	835,668	2,935,668

全国パーキンソン病友の会茨城県支部 支部長 清水 昇勝 ㊞
 会計 大森 誠 ㊞
 監査 小佐畑 弘 ㊞
 " 久保蘭 努 ㊞

定期支部総会の総括

桜咲く季節に水戸市の県総合福祉会館で第13回定期支部総会が開催された。第二部の医療講演に、筑波大学臨床医学系神経内科教授庄司進一先生による「パーキンソン病治療の最近の動向」と題して講演を拝聴することが出来ました。尚、会場で新会員として3名が入会しました。

- 日 時 平成10年4月12日(日) 午前10時30分～午後3時30分
- 場 所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館4階大研修室
- 参加者 会員30名 家族21名 一般参加者38名 ボランティア4名
合計93名 委任状49名

今回はNHKテレビ・FM放送・茨城放送・各新聞が医療講演の報道して下さいました。38名の一般参加者がありました。

議長に寺門正次氏を選出し、第1号議案から第5号議案まで承認されました。第6号議案の役員選出で一部変わりました。桜井信一氏・中村幸四郎氏・照沼和子氏が辞めて、新たに寺門夫妻が役員に加わりました。

新役員紹介

支部長	◆※	清 水 昇 勝 (石岡市)	県中央地区担当
副支部長	◆	植 本 泰 久 (竜ヶ崎市)	県南地区担当
事務局長	◆◎	清 水 晴 美 (石岡市)	県中央地区担当
事務局員	◎※	綿 引 義 男 (笠間市)	"
"		西 野 源 四 郎 (")	"
"	◎	寺 門 正 次 (那珂町)	県北地区担当
"	◎	植 本 純 代 (竜ヶ崎市)	県南地区担当
"		寺 門 京 子 (那珂町)	県北地区担当
会 計	◎	大 森 誠 (水戸市)	県中央地区担当
監 査	◇	久 保 蘭 努 (つくば市)	県南地区担当
"	◎◇	小 佐 畑 弘 (那珂町)	県北地区担当

◆本部役員 ※県難連役員 ◎健全者 ◇事務局員兼務

[ブロック活動に伴う世話人]

日立保健所管内患者・家族会 世話人 君 島 政 雄 益 子 健 次

1998年4月28日

殿

下記の請願書は4月28日衆参厚生委員の議員に対し全国役員の代表が請願した文書です。

難病患者の治療費自己負担導入 反対請願書

(補正予算で従来通りの公費負担を復活させて下さい。)

本予算は私達の強い願いにもかかわらず、難病患者の医療費全額公費負担制度を崩し、一部自己負担を導入した政府‘98年度(平成10年度)予算が8日に成立しました。

私達は原因もわからず、完全な治療法も確立されないまま毎日病氣と苦闘しています。

薬を吞んでも一時間位しか動くことができない人達は働きたくとも仕事につけない人、家族に迷惑をかけたくないといい、一命を絶った人、私達のこの苦しみを誰が理解してくれるのでしょうか。

不自由な身体をひきづって私達は予算委員の先生方に訴えてきましたが、期待は裏切られてしまいました。しかし私達は人間の尊厳をかけて反対していきます。

財政構造改革の名のもとに弱いところから改めてくる今の政府のあり方は、なんのための政治なのでしょう。又、この度、公的資金を投入することなどを内容とする1.6兆円上回る「総合経済対策」を決定いたしました。この予算の中に私達が生きていてよかったといえる闘病生活が行こなわれるよう下記の事を要望致します。

記

- 1, 難病患者の治療研究事業の患者負担は中止して下さい。
- 2, 補正予算で従来通りの公費負担を復活させて下さい。

家庭にくらし

脳のオゾン

パーキンソン病 ⑤

「退院したら一緒に旅行に行きたい」。手術を終え、病室に戻って来た山梨市の岩下健彦さん(55)の言葉を、妻迪子さんは信じられない思いで聞いた。

「パーキンソン病と分かって九年。何もできないとあきらめて無口になった主人からそんな言葉が出るなんて、初めてです」。市役所の都市計画課長としてバリバリ働いていた陽気な夫が戻ってきたよかったです。

岩下さんは治療薬「ドパ」を服用していたが、手の震えがひどくなり、五十六歳で依頼退職。家じもりながら、塗りに覆れていた時、雑誌で手術を知り、先月、東京・目黒区の木村神経内科クリニックで、定位脳手術と呼ばれる手術を受けた。

頭に光が通る感じ、手術は、患者の脳を固定し、局所麻酔をかけて脳に小さな

穴を開け、直径一センチ程度の細い針を脳の深部に刺し込む。電流を通じ七秒間に温めた針の先で、脳深部を三十秒間、熱凝固する。

薬物治療補助の手術
手の震えなどに効果



パーキンソン病の定位脳手術 (木村博太郎院長提供)

脳の手術は、ドパが登場する一九六〇年代以前も行われていたが、劇的な薬の効果目下下火になった。しかし、薬を服用し続ける、緩慢な動作や足のすくみに対する薬の効果が見られ、体がうねるジスキネシアの症状などが表れることが分かり、薬物治療の限

界が浮かび上がってきた。手術は、薬を抑えきれない症状を改善するとして八〇年代に再び脚光を浴びた。CTやMRI(磁気共鳴断層撮影)の進歩で脳内の機子がよく分かるようになり、ミクログリッドの手術が可能になった。

神経細胞の興奮が運動神経にブレーキをかけ過ぎ、動けなくなる。細胞が異常興奮している部分を熱で焼くことで、症状を抑える。

同クリニックの木村博太郎院長は「狙う部位の正確さが何より大事。一ミリずれても、効き目がないばかりか、かえ

って副作用が出ることもある」と話す。同クリニックと群馬大では、針の先に付けた微小電極で神経電気活動の状態を探りながらターゲットを避けていく。

「補助治療は」手術を受けてもドパの服用は続ける必要がある。手術は症状を改善する根治治療ではありませぬ。むしろドパを安心して飲むための言葉です」と話す。

適応は2割程度、全国パーキンソン病友の会の調査アンケートでは、手術を受けた患者百十八人中、四十八人が良くなったが、一時良くなったが元に戻った人が三十八人、変わらない、悪くなった人は二十三人、またわからない人が十一人いた。

木村院長は「痛痒い合併した人やドパの効きが悪い人には効果が無い。手術の適応は全患者の二割程度で手術の適応を選ぶ必要がある」と話す。保険診療で手術できるが、自由診療の施設もある。脳に針を通すため、わずかながら脳出血の危険もある。手術を受けるかどうかは、神経内科の専門医と話し合う必要があるそうです。

友の会では病院ごとの手術成績調査を計画している

医療ルネサンス

1617

第11部

家庭をくらし

癒しの処方

パーキンソン病 ⑥

病気を知らない人が見たら、薬を飲んだ時と飲まない時は別人だと思つていい。不慮に住む二十代の女性に、パーキンソン病の治療薬、脳内で足りなくなったドーパミンを補充するL-DOPAを飲まないと、両側から入りが交差しなければ立てない。ベッドの上で「手を動かして」と言われても、筋肉がこわばり、スローモーションのようになり、ゆっくりかすかに手を振るのだ。

一週は40歳未満で発症

薬を飲むと、外見上は病者と変わらない。スムーズに振れるし、手も動く。「若くして発症した人は、L-DOPAの効果が劇的に表れる」。若年性パーキンソン病の研究をしている国立産科病院の横地正之神経内科部長が話す。パーキンソン病は高齢者に多い病気だが、患者の約1割は四十歳未満で発症する。

症状抑制と副作用と薬の量の調節難しく

横地部長は、若年発症の患者を調査すると、いくつかの特徴が分かった。若年発症患者の約半数は家族にパーキンソン病歴がなかった。高齢患者に比べて、L-DOPAが効果やすく、比較的病気の進行は遅い。



パーキンソン病の進行度は、症状別に重症度に分けられる。一度は片側だけの薬えと筋肉のこわばり、2度では両側に症状が表れ、動作が乏しくなる。3度は歩行とバランスに障害が表れ、4度は日常生活動作が全般的に低下、5度になると歩行介助を必要とする。重症度は2度から3度、5年以上経過して5度から6度、10年以上経過して6度から7度、15年以上経過して7度から8度、20年以上経過して8度から9度、25年以上経過して9度から10度と進む。

ケースが多い。症状にも特徴があり、薬えが少なく、こわばりが劇的に表れる。L-DOPAが効く一方、薬の効く時間が次第に短くなり、効いている時と効かない時の差が大きくなりやすい。体がぐわんぐわんシヤも表れる。

「若い患者は、薬の効果が長くなるために処方期間が長くなる傾向がある。設計が難しい。働き盛りの人にとっても症状を抑えようと薬を飲み過ぎると、将来の副作用を考慮して、腹八分目で我慢するよう引き締める医師と、今の生活を満足させたいと願う患者とが話し合って治療法を決めている。

東京都北区のAさん(66)は、三十代のころ足が突っ張って歩きにくくなった。職場のアマチュア野球の捕手だったのだが、うまく行かない。マイクジャンプは通常の半分を叩く時でも手の動きが鈍く、自分だけパイを積むのに時間がかかった。「どうも、おかしい」。自動車部品の製造工場に勤めていたが、手先がこぼつかなくなり、退職。妻の介護は重なる手伝いになった。

部内の病院でパーキンソン病と診断され、L-DOPAを飲んだ。「飲んでしばらくすると、体がビシッとする。足が軽くなって、すすすと歩ける」。その後病気が進み、三錠、五錠と薬の量が増え、四十代になると、ジスキネジアが表れた。

病気が進行するスピードは個人差が大きい

医療ルネサンス

1618

第11部

各支部別会員数

(平成10年4月1日現在)

支 部 名	人 口	推定患者数	会 員 数	加 入 率
北海道	570万人	2,280人	380人	16,7%
宮城県	234	940	104	11,1
茨城県	297	1,190	123	10,3
栃木県	199	800	38	4,8
群馬県	201	800	83	10,4
埼玉県	681	2,720	185	6,8
千葉県	582	2,330	120	5,5
神奈川県	828	3,310	244	7,4
東京都	1,177	4,710	1,140	24,2
静岡県	375	1,500	180	12,0
愛知県	690	2,760	103	3,7
岐阜県	211	840	80	9,5
新潟県	248	990	130	13,1
長野県	221	830	90	10,2
京都府	263	1,050	225	21,4
大阪府	889	3,520	256	7,3
兵庫県	541	2,160	206	9,5
岡山県	195	780	52	6,7
広島県	288	1,150	140	12,2
鳥取県	77	310	60	19,4
山口県	155	620	88	14,2
愛媛県	151	600	70	11,7
高知県	82	330	90	27,3
福岡県	495	1,580	110	7,0
大分県	123	490	58	11,8
宮崎県	118	470	39	8,3
佐賀県	89	360	50	13,9
熊本県	186	740	160	21,6
鹿児島県	179	720	84	11,7
つばみの会			100	
合 計	12,586	50,340	4,769	9,5

平成10年度活動方針

1. マスコミ、県や市町村の広報、病院、各保健所をつうじて未加入潜在患者の発掘につとめ、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
2. 地区別（ブロック）活動の推進をはかります。
3. 患者・家族交流会（一泊旅行）を行います。
4. 必要に応じて会員宅を訪問致します。
5. 県難連、他難病団体、パーキンソン病友の会他支部との連帯を深めていきます。
6. 支部会報（支部だより）を発行します。

【事務局だより】

- ◆ 今年の活動方針の一つ地区別活動の推進をはかるため、各地区毎に思考をこらした企画で行なわれます、ご期待下さい。
- ◆ 支部主催の患者・家族交流会は10月に場所は未定ですが開催します。詳しくは追ってご案内致します。
- ◆ 第22回全国パーキンソン病友の会全国総会・大会が埼玉県大宮市で開催致します。参加希望者は全国会報（No67号）でご案内致しましたとおりです。
- ◆ 支部会報の原稿を募集して居ります。
- ◆ 年会費の未納の方、宜しくお願い申し上げます。

編集後記

この号（支部会報45号）発行はゴールデンウィークの最中です。又、5月1日より、一般特定疾患の公費負担制度が変わります。自己負担の限度額が入院の場合1医療機関月額14,000円、通院の場合1医療機関月額2,000円（1回1,000円限度、月2回迄）がはじまりました。これから私達の取り巻く情勢は厳しく成る事と思います。引き続き、難病対策の拡充のため頑張ります。

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒315-0018 茨城県石岡市若松1-7-5

TEL&FAX; 0299-22-5580

郵便振替口座番号; 00300-4-38042

発行者 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073・東京都世田谷区砧6-26-21

TEL; 03-3416-1689

頒価300円